

平成 29 年度臨時評議員会議事録

日時:平成 30 年 9 月 8 日(土) 15 時 00 分～15 時 30 分

場所:県民サポートセンター304 号室

出席者:各クラブ評議員(別添参照)

顧問・参与:生駒顧問、田中顧問、三井顧問、佐藤顧問、米田顧問

協会役員:山田会長、河邊理事長、佐々木副理事長、坂田副理事長、西田理事、森山理事、
東島監事、小川監事

議長:上田評議員(横浜市役所スキークラブ)

議事録署名人:辻内評議員(日立横浜スキー部)

書記:森山理事、小川監事

司会:東島監事

議題:平成 30、31 年度横浜スキー協会役員に関する件(承認)

議事内容

1.開会および成立要件

東島監事より、開会にあたり本評議委員会が規約第 41 条に基づき、総数 88 名に対し出席および委任状総数が 47 名で過半数に達しており、会議が成立していることの報告があった。

2.会長挨拶

山田会長より、開会にあたり本日の審議事項である次期協会役員選出のほか、今秋予定されている協会創立 70 周年記念式典等の準備状況報告を行いたいとの挨拶があった。

3.議長選出

規約第 38 条に基づき、出席評議員の中から上田評議員が議長に選出された。

4.議事録署名人選出

規約第 42 条に基づき、議事録署名人の選出が行われた。辻内評議員から立候補があり、承認された。

5.書記任命

協会より森山理事と小川監事が任命された。

6.議事

「平成 30、31 年度横浜スキー協会役員の件」

岡本役員選考委員会委員長より別紙資料に基づき、報告があった。なお、今回は答申作成に難航し、例年より委員会の開催回数が多くなったとの補足があった。

選考にあたり、会長職は 2 名の候補の中から、協会全体の若返りも意識しての選考となった。副理事長は現理事の中から選考、理事定数に満たない分は会長推薦枠として設定した。監事は応募がなかったため現職の継続で推挙したとの説明があった。

上田議長より、岡本委員長の報告を受けて、本件について審議応答を求められた。
出席評議員からの質疑はなく、質疑応答は終了した。

上田議長より、本件が審議に諮られた。

審議の結果、答申案について承認された。

審議の終了に伴い、上田議長の議長役は解任となった。

7. 退任役員の紹介および挨拶

退任者: 山田会長、佐々木副理事長、島村副理事長、藤田理事、三森理事

本日出席の山田会長、佐々木副理事長より退任の挨拶があった。

山田会長からは、任期中に目指していたが未達の事項について新会長に引き継ぐ旨の発言があった。

8. 新任役員の紹介

新任者: 河邊会長、鈴木副会長、坂田理事長、小沼(裕)副理事長、森山理事、

五月女理事、小沼(み)理事、飯塚理事、西田理事、東島監事、小川監事

本日出席の役員の紹介があった。

河邊新会長より以下の挨拶と基本的な考え方が述べられた。

- ・ 創立 70 周年記念事業の実施に注力していくこと。
- ・ 前執行部にて指摘されている未達成の項目は今後継続して努力していくこと。
- ・ 当協会に協賛してくれる企業の新規開拓を図っていくこと。
- ・ 協会内はオープンで透明であり、楽しいと思える組織が重要であると考えていること。
- ・ 山田前協会会長には顧問として協会運営についてご協力をお願いしたいこと。
- ・ 協会所属のクラブからの期待に応えられるようにしていきたいと考えていること。

9. 出席顧問・参与の紹介

本日の臨時評議員会に出席いただいた、井駒顧問、田中顧問、三井顧問、佐藤顧問、米田顧問の紹介があった。

10. 閉会挨拶

坂田理事長より閉会の挨拶があった。

以上

議事録署名人 辻内賢一 